

株主様とともに

安定的に利益を確保し、株主還元を追求するとともに、積極的に株主様とコミュニケーションを図っています。

【株主様】各行動計画の実績と評価

主な取り組み		2006年度目標	2006年度結果	評価	2007年度目標	掲載ページ	
株主様満足を目指して	安定配当の維持	売上(連結) ※1	98,700百万円 ※2	98,411百万円	×	106,800百万円	5
		経常損益(連結) ※1	3,610百万円 ※2	4,111百万円	○	4,890百万円	5
		ROC	25% (2010年度目標)	8.84%	—	25% (2010年度目標)	28
		売上(単体)	39,100百万円 ※2	38,595百万円	×	42,100百万円	—
		経常損益(単体)	710百万円 ※2	947百万円	○	1,260百万円	—
		配当性向	20%以上	25.9%	○	20%以上	28
		四半期決算の実施	四半期決算を実施	四半期決算を実施	○	四半期決算を実施	28
株主数	株主数	100,000人(達成年度の目標なし)	73,898人	—	100,000人(達成年度の目標なし)	28	
	株主総会の開催	より多くの株主様にご参加いただく	7,363名(株主様・同伴者様含む)	○	より多くの株主様にご参加いただく	30	

○達成、×未達成、—該当なし

※対象期間は 2006年4月1日～2007年3月31日

(※1)「連結」の売上・経常損益は連結決算、売上は消費税を含まない

(※2)2006年度の目標数値は2006年11月の業績予想の数値を使用しています。

適切な開示に向けて

ワタミ(株)
執行役員 経営管理本部長 武藤 輝一



現在のワタミグループは、従来の外食事業に加え、介護事業などその他に事業範囲を拡大しています。これら様々な事業分野において、その収益性を高め、安定した利益を確保し、それを株主・投資家の皆様に還元していく事がグループの責任の一つだと考えています。

また、その為に必要な情報を的確に把握し、“速やかに”“適切に”開示していく事も、重要な使命であると考えています。

今後とも、株主・投資家の皆様の適正な投資判断に資するよう、外食事業のみならず、介護・農業・環境などのグループの取り組みを、より正しく、より透明性を高く、よりスピーディに開示する体制を確保していきます。

2007年度においては、次年度から適用される内部統制報告制度への対応を中心に、グループのガバナンスを確立していきます。更に正確な財務情報を作成する体制を整え、リスクマネジメントを行い、「適切な開示」を行ってまいります。

株主様との対話を大切に

ワタミ(株)
社長室長 中川 直洋



ワタミグループでは、株主様と積極的な対話を行い、経営に反映していくことが大切であると考えています。

機関投資家・アナリストの皆様に対しては、決算発表後にトップによる決算説明会を開催する他、スモールミーティングやワンオンワンミーティングを積極的に行い、経営状況や今後の事業展開について説明させていただき、証券市場の声に真摯に耳を傾けています。

個人株主様に対しましては、年2回の「株主ふれあい通信」の発行、株主優待券のご利用によるワタミグループ事業のご理解を深めていただいています。またアンケートハガキを送付、そのご回答内容を経営に活かしています。

2007年度も引き続き株主様、証券関係者との対話を重視していく所存です。

株主様の満足を目指して

安定配当の維持を基本に

ワタミ(株)では、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としながら、業績と財務状況などを鑑みながら還元を実施しています。

2006年度の配当金は、通期で10円、配当性向は2006年3月期34.6%で、2007年3月期は10円配当で25.9%となりました。

店頭公開時、目標とした20%を上回る株主還元を行っていますが、中長期的な事業計画を見据え減配は行いませんでした。

また、収益性・資金効率の観点から、重要経営指標としてROC(使用資本経常利益率)を掲げています。今後も外食事業に加えて介護事業などグループ事業の拡大をはかりながらも、2010年25%を目指しています。

個別の投資案件につきましては、投資基準を明確にするためROI指標を活用し、各事業の投資回収管理を徹底し、格付け「A」の取得を目指し、企業価値のさらなる拡大に努めています。

■ROC ※経常利益÷(有利子負債+株主資本)

2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
11.15%	8.26%	6.94%	8.84%

■株価

	高値(円)	安値(円)	年度末終値(円)
2003年度	890	610	838
2004年度	1,100	800	930
2005年度	2,120	890	1,819
2006年度	1,867	1,400	1,674

■1株あたり純資産額/1株あたり配当額/配当性向/1株あたり当期純利益

	1株あたり純資産額(円)	1株あたり配当額(円)	配当性向(%)	1株あたり当期純利益(円)
2003年度	413.31	10	40.1	24.91
2004年度	441.65	10	27.1	36.86
2005年度	458.77	10	34.6	28.83
2006年度	488.28	10	25.9	38.63

※1株あたり純資産額はグループ連結、配当性向・1株あたり当期純利益は2003年度から2005年度まではワタミ(株)単体の数値を、2006年度はグループ連結の数値を使用しています。

社会的責任投資(SRI)での評価

※ SRI : Socially Responsible Investment

近年、金融(株式)市場では、財務的な観点だけでなく環境保全や人権への配慮、倫理性・社会貢献といった観点を投資判断の評価基準とする社会的責任投資(SRI)に対する関心が高まっています。ワタミでは複数のSRIファンドにも組み入れられています。

■組み入れられているファンド(2007年5月1日時点)

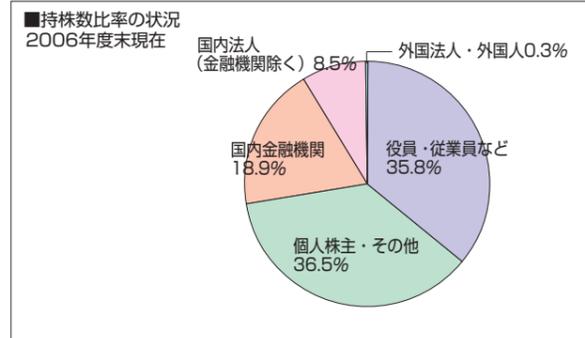
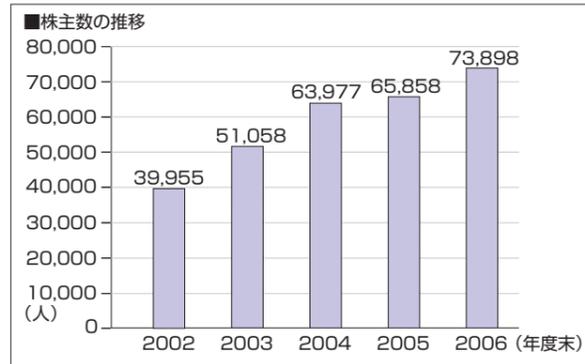
運用会社名	ファンド名称
野村アセットマネジメント	モーニングスターSRIインデックス・オープン(愛称:つながり) ※2006年7月18日付け運用報告書
三井住友アセットマネジメント	エコバランス(愛称:海と空) ※2006年9月25日付け運用報告書

株主構成について

ワタミ(株)では、株主様はもちろんステークホルダーの皆様にも積極的なIR活動を実施し、株主様10万人を目指しています。

現在の持株数比率は、「役員・従業員など35.8%」「個人株主・その他36.5%」「国内金融機関18.9%」「国内法人(金融機関除く)8.5%」「外国法人・外国人0.3%」となっています。

また、ほぼ全従業員が「持株会」を通じてワタミの株式を保有し、経営への参加意識を高めています。



株主様ご優待制度について

ワタミ(株)では、外食店舗で利用できる割引券として株主様ご優待券を年2回発送しています。新たに優待制度として、ワタミファームが販売する有機野菜やアイスクリームを購入する際や、ワタミの介護が運営する老人ホームへ入居する際に割引を行う制度も導入いたしました。

ワタミ(株)では、2005年度から株主様ご優待券を、NPO法人「スクール・エイド・ジャパン(→詳しくはP46)」への寄付としてもご利用いただけます。

2006年度は、株主様ご優待券より、835千円が寄付されました。



スピーディな情報開示体制

ワタミ(株)では、企業情報の開示は非常に重要との認識で、適切かつ迅速な情報提供のために担当部署を設け、積極的に活動しています。お問い合わせに対しては、公平かつ正確な情報の提供を追求しています。

有価証券報告書およびリリースすべてを、日本証券業協会に株式を店頭登録した翌年の1997年からワタミふれあいホームページに公開しています。

また、四半期ごとに決算を開示、事業報告の小冊子を年2回発行する他、毎月10日をめどに近況報告を発表し、タイムリーな情報発信に努めています。

当社の近況報告は、東京証券取引所に提出した後、ホームページにも掲載し、外食事業をはじめ、介護事業や新規事業への取り組みなど活動状況を公開しています。



ふれあいホームページのIRのページ http://www.watami.co.jp/ir/ir_top.html

機関投資家向けに様々な活動を

決算発表の同日に、株式市場関係者・報道機関の方々を対象にした「決算説明会」を実施、その資料の内容はワタミふれあいホームページにて公開しています。

さらに、機関投資家やアナリストの方々に対してスモールミーティングやIR担当者が機関投資家やアナリストを直接訪問し、決算数値・事業内容などを個別にお伝えするワンオンワンミーティングを開催しています。2006年度はスモールミーティングを90社、ワンオンワンミーティングを71社に対して実施しました。

また、ワタミふれあいホームページIRページでは、毎月のワタミグループ近況報告を英訳で掲載するなど充実を図りました。さらに2006年9月に実施された、外資系証券会社主催の外国人投資家向けに開催された「ジャパンコンファレンス」にも参加しました。

■2006年度の主なIR活動

IRカレンダー	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算説明会		●						●				
スモールミーティング		●					●	●				
ワンオンワンミーティング		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
海外向けIRビデオ							●					
有価証券報告書			●						●			
月次の店舗情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
定時株主総会			●									
定時株主総会招集通知			●									
経営説明会(関西)				●								
株主様向け報告書			●						●			
株主優待券		●							●			
株主ふれあい通信		●							●			

株主様からも「ありがとう」をいただける会社になるべく、取り組みを続けています。

株主様との積極的な交流を

ワタミ(株)では、個人株主が多いことに留意して、集中日を避けた土曜日に株主総会を開催、より多くの株主様が参加できるように努めています。

株主総会終了後には、事業戦略や株主様との質疑応答をするための経営説明会を開催し積極的な交流を行っています。

2005年度からは、東京での開催に加えて、関西地区でも経営説明会を開催しています。

TOPICS

株主様向け「株主ふれあい通信」

2006年度は、「株主ふれあい通信」をお送りしました。

内容は、株主様に、よりワタミグループのことを知っていただくために、株主優待制度のご案内に加えて、各事業の内容、ワタミグループで働く社員の声など記載し、今後も年2回の送付を計画しています。



株主様向け報告書の発行

ワタミ(株)では1997年から株主様向けに半期毎の事業報告・決算報告などが記載されている冊子をお送りしています。

2002年より通期の報告にあたっては「親愛なる株主様へ」と題してワタミ(株)社長より本人の言葉でそれぞれの事業における「思い」や今後の目標などを、株主様向けの手紙としてお送りしています。



TOPICS

外国人投資家に「Izakaya Night」を開催

2006年9月、語らひ処「坐・和民」銀座土橋店(東京都)にて、外資系証券会社主催「2006ジャパンコンファレンス」特別企画として、「夕食会(Izakaya Night)」を開催し、外国人投資家を中心に90名の方々にご参加いただきました。

ワタミグループの外食事業の取り組みの他、現在当社が展開中の介護、農業、環境の各業界の現状と将来の展望についてご説明し、取り組みをご説明しました。

また、より当社事業を伝えるべく、会社案内を映像(英語版)にて放映しました。

このイベントを通じて、外国人投資家の株主比率の拡大を図るとともに、良好な関係を構築したいと考えています。



開かれた総会を目指して

第21期定時株主総会ご報告

2007年6月23日(土) 両国国技館(東京都)にて、ワタミ(株) 第21期定時株主総会および経営説明会を開催。株主様、同伴者様などあわせて7,363名もの方々にご参加いただき、過去最大の総会を開催することができました。

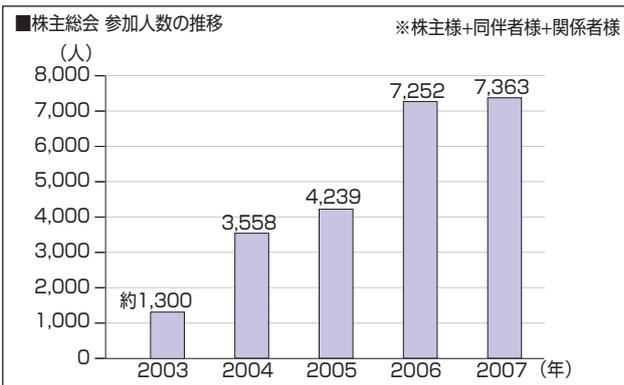
当日は、株主総会、経営説明会にて、積極的なご意見やご提言をいただき、大変参考になりました。また、介護事業を主に収録したビデオ上映も行いました。

会場では、各事業の活動を紹介するブースの設置、ワタミファームの平飼鶏の玉子焼きなどが盛り込まれた「わたみ特撰松花堂弁当」の販売、有機野菜の即売会、屋台ブースでのお好み焼や焼鳥の販売、

介護食(ソフト食)の試食などを行う他、似顔絵コーナーやキッズコーナーを設営しました。

また、グループ社員がボランティアをさせていただいている地域作業所の方が授産品を販売するスペースや、今年度以外食店舗で協同キャンペーンを実施させていただいた宮崎県の特産品を販売するスペースを用意させていただきました。

関西地区でも、国立京都国際会館にてワタミ株式会社第3回関西地区経営説明会を2007年7月7日(土)に開催し、663名の方々がご参加くださいました。株主総会と同じく経営説明とビデオ上映を実施し、株主様から活発なご意見やご提言を頂戴しました。



当日のイベント例



屋台ブースでは、元祖唐変木のお好み焼、榛名鶏の唐揚、炭火焼き鳥、特製タコス、オリジナルドリンクの販売を行いました。



似顔絵コーナー



介護事業ブースでは、血圧測定コーナーの設置の他、介護食(ソフト食)の試食やアクティビティ(ワタミ体操)の紹介を行いました。



ワタミの森で間伐した杉の木を使用した塗り箸を販売しました。有機野菜即売会や有機アイスクリーム・有機チーズなどの販売を行いました。

TOPICS

株主総会を終えて ワタミ(株) 業務部 課長 望月 正章



ワタミグループの株主総会では株主様以外にも同伴者様、マスコミやアナリストなどより多くの方々に参加していただくよう努めています。

2007年度は、昨年度好評でしたお弁当やお好み焼・焼き鳥の販売に加え有機アイスクリーム、有機チーズ、有機トマトジュースや短角和牛を使ったサンドウィッチなども販売し、さらにバラエティ豊かになりました。

また関西地区で開催された経営説明会では当日のご感想を伺うアンケートの取り組みを行いました。来年度以降もこれらの貴重なご意見を基に、よりよい株主総会にしていきたいと考えています。